

2009年度 第5回バイオクライマティックデザイン小委員会 合同WG 議事録

■日時：平成22年3月24日（水）17：30～19：30

■場所：日本建築学会 本部 会議室

■出席者：宇野朋子（電力中央研究所）、金子尚志（エステック計画研究所）、神中智子（彰国社）、北瀬幹哉（環建築舎）、須永修通（首都大学東京）、斉藤雅也（札幌市立大学）、鈴木信恵（東京都市大学）、廣谷純子（オーガニックテーブル）、長谷川兼一（秋田県立大学）、深澤たまき（神奈川大学）。

■配布資料

資料1 目次案（3月1日版）、

資料2-1、2-2 1-2のイメージ、参考資料の年表（金子氏作成）

資料3 2-3サンプル 涼しさのデザイン「日射遮蔽」（北瀬氏作成）

資料4 2-3サンプル 雪国の住宅の形態と性能の関係をみつける（深澤氏作成）

資料5 グラフ・図面などのデータ形式について（神中氏作成）

資料6 2-3サンプル 事例と取り上げる内容について（廣谷作成）

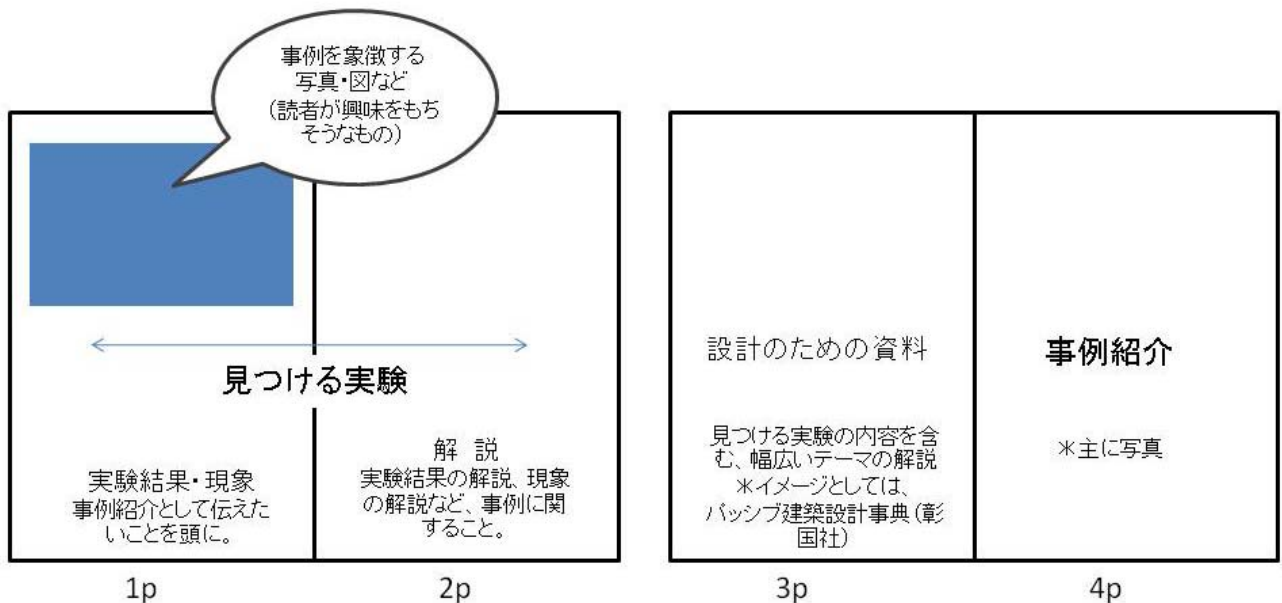
■ 環境工学用教材についての校正内容について確認をした。

■ 話題提供 須永主査：中国における太陽給湯システムの現状（スライド上映）。太陽給湯システムが普及している集合住宅の視察状況、ヤオトンの視察状況についてのスライド紹介があった。

■ バイオ本（出版）

目次案・2-3のまとめ方について

- ・ハウスメーカーの事例については、日本の情勢として、歴史とあわせて記載し、コラムにする。4P
- ・1-3に光の事例を入れ、音の事例を2つから1つに減らす。
- ・2-3の1940年代の事例は、ないのでやめる。→ 金子さん、北瀬さん、宇野さん退出後
- ・参考資料の自然エネルギーポテンシャルマップとクリモグラフ、風向図などの説明をあわせて、見つけるための基礎（1-2）に4p加える。→ 気象、自然エネルギーの見方などは、バイオクライマティックデザインの基礎なので頭に入れる。
- ・2-3見つける事例のまとめ方



*3p 設計のための資料が難しい場合は、見つける事例を1～3pに広げて解説しても可。その場合は、見つける事例実験が設計の資料となるような解説を意識してもらえるとよいと思います。

・1-3 設計のための資料、2章-3 代表的な建築紹介を含めて、環境工学の内容を網羅的に扱えるように、内容がなるべくかぶらないように、執筆者間で調整するために、一覧表での整理が必要。後日、目次案を改良した記入シートを送付。

■進め方について

- ・執筆にあたっては、変更の可能性が大きな情報は入れないこと。(例：法規や認定基準など) どうしても入れる必要がある場合は、参考資料とすること。
- ・各執筆担当者に査読担当をつけ、教科書として間違いがないかの確認をする。
- ・6月中の原稿アップ、12月出版のスケジュールは、予定どおり。
- ・原稿の執筆に当たっては、神中氏よりもらったグラフ・図面などのデータ形式について参考にすること。(特にグラフなどは、jpeg やビットマップなど画像データにしないこと。エクセルからイラストレーターへのデータ化は、ソフトを持っている人で分担も可)

■執筆依頼について

・3月24日付けの目次案でFIXとし、各先生に執筆依頼を出す。

<コラムを依頼する先生の場合>

1. 学会からの執筆依頼ひな形を廣谷へ送る。
2. 神中氏より、ラフレイアウトと文字数のイメージを廣谷に送る。
3. 須永先生より、小玉先生、堀越先生、岩村先生、木村先生に、1次依頼をしてもらう。4. 1. 2を併せて、廣谷より依頼状を出す。
5. 野沢氏、高間氏については、廣谷より、執筆がいいか、対談→書き起こしがいいかの確認をして依頼。

<1-3の執筆者>

4月20日、5月17日の状態をメンバーで確認し、サンプル完成となった状態で、サンプルと併せて依頼状を送付。(最低1カ月の期間は確保して依頼できるように、と考えると次回がリミットに近いです。)

■次回打ち合わせ、小委員会

4月20日(火) WG (在東京メンバーを中心に開催)

5月17日(月) 2010年度(第1回)を開催予定。

作成 廣谷・斉藤
以上